

「キラリ振る舞い三中生」育成プロジェクト

29年度の反省と課題

マナー育成委員会

- <成果>・「マナーテキスト」が完成 ・職員室で氏名を名乗るなど具体的な効果 ・あいさつの習慣
- <課題>・「マナーテキスト」「マナー検定」計画が未定 ・ホワイトボードの活用計画が未定
- <方向性>・「マナーテキスト」を使った計画的なマナー学習と検定実施

<雰囲気としての成果>

- ・生徒への新たな取り組みへの意識付け  
→屋上の記念看板、記念ポスター、マナーテキスト、挨拶コンクール、ホワイトボード、縦割運動会記念Tシャツ、8:30整列 etc
- ・儀式的行事の準備や片付け、校内清掃
- ・自治活動

<課題>

- ・プロジェクトへの教職員の意識と組織体系
- ・研究発表会に向けた方向性の共有と整理、計画
- ・できるだけ時間割に入れた実行委員会
- ・研究推進の組織名称の整理
- ・数値で分かる変容の表現

振る舞い

心

頭



社会に出て通用する生徒の育成

- ・コミュニケーション力
- ・頑張ろうとする力
- ・礼儀作法、マナー

自己有用感の向上  
他者を思いやる心の育成

生活指導あり方委員会

- <成果>・生徒会活動の活性化 ・三中が良い方向に進んでいる意識向上
- ・TPOにあわせた服装指導 ・生活環境指導
- <課題>・「生徒が主体となる活動の場を広げる」取り組みの発表と検証
- ・「黄金の足跡」の計画的な活用と検証 ・共通指導の不徹底
- ・生徒への「～してくれて、ありがとう」という言葉がけの徹底
- <方向性>・なぜ「自己肯定感や自己有用感を高めるのか」という目的の共有
- ・何をしたら、そしてその変容の検討

学習アプローチ委員会

- <成果>・条件付の校内研究授業を通して授業改善に向けた加速度UP
- ・帰り計算全学年実施などの具体的な学習習慣の取り組み
- <課題>・新しい指導要領を見据えた授業のあり方が不明瞭、進むべき方向性が曖昧
- ・帰り学活時の「授業ポイントの振り返り」と「帰り計算」の時間的な困難さ
- <方向性>・「学びの姿勢が高まる授業」となる三中スタンダードとなる授業作り
- ・研究授業での見るべきポイントの提示
- ・「授業ポイント振り返り」と「帰り計算」の意義や成果と方向性